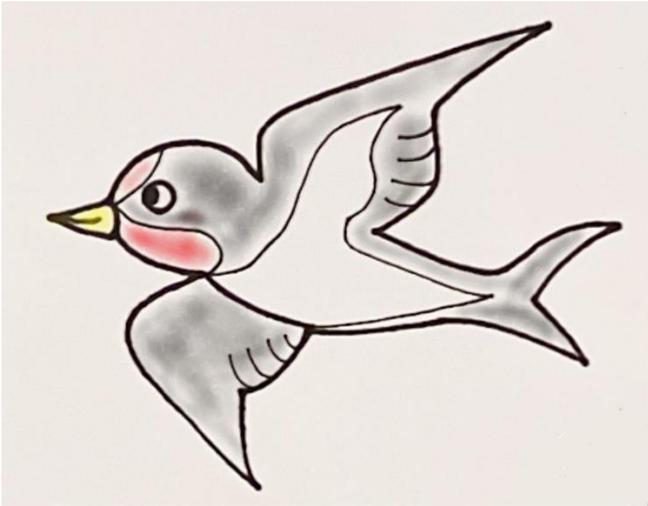


「つばめのす」



つばめ という とりを していますか？
からだ が 黒くて、くびのまわりが あかい
ちいさな とりです。

はるの あたたかいきせつに にほんに やってきて
す をつくり こども (ひな) を そだてます。

おやどりは すを つくるばしょを おぼえていて
まいとし おなじ ばしょや ちかくの ばしょに
すを つくっています。

じょうさいようちえんを そつぎょうした おともだちの おうちのかたが つばめのす の シャしんを
とってくださったので きょうは みんなに その シャしんを おみせしたいと おもいます。
(6ねんまえの シャしんですが、なんと ことしも おなじところに つばめのすが
できているそうです！)



つばめのすは あめに ぬれると どうなるでしょうか？
ぬれてしまいますし、 たまごが あめで
ひえて しまいます。
なので、 やねが あって すこし たかい ばしょに
つくられる ことが おおいです。

「マンションの いりぐちに つばめのすが あったよ！」



つばめ です。 この つばめは おとなの つばめ。
つばめの おかあさんです。

3000 キロメートル から 5000 キロメートル はなれた
あたたかいくに (たいわん、フィリピン、オーストラリア など)
から とんできて にほんに もどってきました。

つばめは いちにちに ながい きよりで 300キロメートルも
とんで いどうすることが できます。

300キロメートルは だいたい とうきょうから なごや
までの ながい きより です。

しんかんせんの「のぞみ」で やく 1じかん40ふんくらいです。
ながい じかん そしてながい きよりを とぶ つばめは
すごい ですね!



さあ、いまから すを つくりはじめます。

ざいりょうは だろや くさを つばめの
だえきで かためたもので つくられています。



つばめ いっぴきが はいれるくらい
のおおきさになりました。

そして ^{なのかご} 七日後…

おかあさんの あたまが
すこしだけ みえているよ



つばめのす が かんせいしました。
つばめの おかあさんは いっしょうけんめい
すのなかで うんだ たまごたちを
あたためています。



「ぴよっ」
たまごから ひなが かえりました。



つばめのひなたちは おおきな こえで
なっています。



「ぴいぴい ママ～
おなかが すいたよ～！」

おかあさんが やってきました。



むし など を つかまえた おかあさんは
こども (ひな) たちに くちうつしで エサを
あたえます。

ひなたちに エサを たべさせるために
おかあさんの つばめは 1にちに 500かいも
すを いったり きたり するそうです。

このあと おおきくそだった ひなたちは つゆのじき (6がつ) になるまえに おとなになって とびたち
あたたかいくに (たいわん、フィリピン、オーストラリア など) へ 3000 キロメートルから 5000
キロメートルの たびをします。

じょうさいようちえんでは 「ことりたちは」という さんびかを うたっています。
わたしたちのだけではなく ちいさな つばめたちも みまもってくださいる かみさまのことを おぼえ
たいとおもいます。

ことしも たくさんの つばめのひなたちが そだって だいぼうけんが できますように。